

大町病院だより

第31号

2011年
(平成23年)

9月1日

〒398-0002 長野県大町市大町3130 市立大町総合病院 電話 0261-22-0415



【第1回 病院祭：関連記事2・3ページ】

目 次

- P 2・3…第1回病院祭開催報告
- P 4・5…東日本大震災 災害医療支援活動報告
- P 6………こんにちは！大町病院健診センターです
- P 7………診療所情報 他
- P 8………病院からのお知らせ
- P 9………募集情報（職員・シニアナース募集）
- P 10………職場紹介
- P 11………登録医紹介（横沢医院 横沢 伸先生）
- P 12………診療表

＜病院理念＞

私たちは、豊かな心の通う医療を提供する病院を目指します。

＜基本方針＞

- 1 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院づくりに努力します。
- 2 十分な説明を行い、納得の得られる医療を提供します。
- 3 地域と連携のとれた病院を目指します。
- 4 思いやりのある、優れた職員を育てます。
- 5 健全で自立できる病院経営に努めます。



初の病院祭開催!



テーマ 地域とともに歩む
明るく開かれた病院を目指して



平成23年 5 月29日 (日) に初の病院祭を開催しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、多くの皆さんにご来院いただきました。

記念すべき第 1 回目の病院祭。オープニングは正面玄関にて「源流美麻太鼓」の力強い演奏。場所をステージに移し、9 時30分によいよ開会。ブラスバンド演奏、クイズ、津軽三味線、DMAT の実演等、様々なステージを披露。午後は三四六さんの講演が開かれました。

院内では、ミニ健診、骨密度測定、栄養相談などの測定・相談ブースの他に、手術体験などの体験ブースを設置。どのブースも長い行列ができ、皆さんの健康に対する関心の高さをうかがうことが出来ました。



午後 1 時15分、今回の目玉イベントとも言えるタレント三四六さんの講演。テント内は超満員、テントには入りきれず傘をさして講演を聞く姿も。「命」をテーマに熱く講演していただきました。

「第 1 回病院祭」のお礼

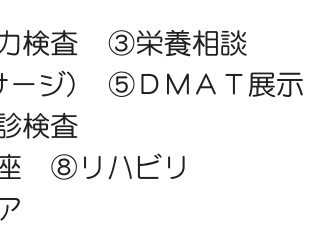
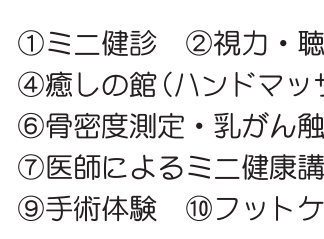
「地域とともに歩む明るく開かれた病院を目指して」をテーマに、市立大町総合病院で開催しました「第 1 回病院祭」は、悪天候にもかかわらず2,000人もの大勢の方にご来場いただき、大盛況に終わることができました。心より感謝申し上げます。

今後も、大町病院を大切に思ってください多くの皆様のお力をいただいて、職員一同、一致団結して病院再生に向けて邁進してまいりますので、変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今回の開催にあたりまして、事前の準備や当日ご協力いただきました多くの皆様に、改めて御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

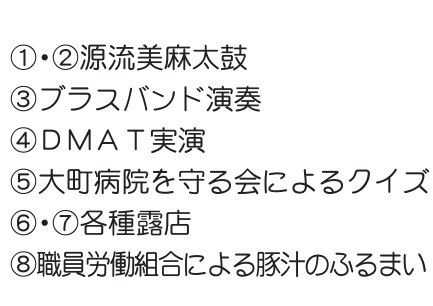
病院事業管理者職務代理者 院長 山田 博美
病院祭実行委員会 実行委員長 高木 哲

院内の様子



- ①ミニ健診 ②視力・聴力検査 ③栄養相談
④癒しの館(ハンドマッサージ) ⑤DMAT展示
⑥骨密度測定・乳がん触診検査
⑦医師によるミニ健康講座 ⑧リハビリ
⑨手術体験 ⑩フットケア

院外の様子



- ①・②源流美麻太鼓
③ブラスバンド演奏
④DMAT実演
⑤大町病院を守る会によるクイズ
⑥・⑦各種露店
⑧職員労働組合による豚汁のふるまい

東日本大震災 災害医療支援活動報告

3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方を中心とした東日本各地に甚大な被害をもたらしました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この未曾有の災害に際し、当院におきましては、震災発生より4度にわたり、被災地の医療支援を行ってまいりました。当院DMATと医療救護班による活動をご報告いたします。

◎DMAT

派遣期間 3/11～14

出動隊員 伊藤医師、坂井看護師、中村看護師、
小坂臨床工学士、高橋事務員

3月11日午後2時46分、地震が発生した。まもなくして大町病院でも揺れが感じられた。「これは大きい!!」院内に飛び交う声。テレビを付けると画面が激しく揺れ、見たこともない津波の光景が写し出された。



直後、DMAT待機要請があり、出動に向けて準備を開始。大町病院を出発し、悪天候の中ひたすら目的地に向かって約13時間、700km近く走り続けた。高速道路は緊急車両の赤色灯で埋め尽くされていた。参集拠点である岩手県盛岡市に到着したが、家の倒壊等もなく被害状況がわからない。出動する前に見たテレビでの光景はなんだったのか?本部の要請で釜石市内へ自衛隊ヘリコプターで向かうと、途中海岸沿いから煙が上がっているのが見えた。釜石市に近づくと街中がめちゃくちゃになっているのが目に飛び込んできた。家や車、全ての物が流されていた。津波の恐ろしさをその時実感した。

釜石市での活動は、県立釜石病院での病院支援。県立釜石病院は、沿岸部より離れていたため津波の被害はなかったが、倒壊の危険はあった。しかし、救急車が次々と到着し孤立した地域からヘリコプターにより多数の患者が運ばれてきた。

釜石市での活動は、県立釜石病院での病院支援。県立釜石病院は、沿岸部より離れていたため津波の被害はなかったが、倒壊の危険はあった。しかし、救急車が次々と到着し孤立した地域からヘリコプターにより多数の患者が運ばれてきた。

今回の震災では、情報が混乱しており、正確な情報を得ることが難しかった。私達にとって初めての災害医療支援活動だったが、訓練とは違う実際の災害支援の難しさを肌で感じた。この経験を活かし、今後もご支援できる機会があれば是非参加したいと考えています。



※DMATとは…

大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、おおむね48時間以内に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームのことです。

■現地までの経路



東日本大震災 DMAT活動経過

【3月11日(金)】

- 14:46 宮城県牡鹿半島沖でマグニチュード9.0の地震発生。(東日本大震災)
- 16:03 DMAT出動要請。
- 16:40 院内DMAT派遣対策会議開催。院内災害対策本部設置準備。院長より出動命令が出る。
- 19:15 出発。(目的地：福島県立医科大)

【3月12日(土)】

- 02:45 目的地が岩手県(消防学校)に変更。
- 07:56 岩手県消防学校到着、活動開始。
- 11:02 自衛隊ヘリで釜石市へ移動。
- 13:00 釜石市内での医療需要がないため、釜石のぞみ病院から災害対策本部を経て県立釜石病院へ移動。
- 14:00 県立釜石病院着。病院内での支援活動開始。(夜間の救急外来などを担当)

【3月13日(日)】

- 07:00 ミーティング後活動再開。
- 09:00 重症患者を他病院へ搬送。ヘリポートから患者搬送。院内での救護活動。
- 14:00 花巻市拠点からDMAT4隊が派遣される事を受け、撤収を決定する。
- 16:20 撤収準備開始。
- 17:10 活動終了、撤収。

【3月14日(月)】

- 21:00 大町病院へ帰着。

派遣期間 3/16～19
氏名(職種) 業務調整員 黒岩 徹(事務職)

大町病院医療救護班(第1班)は、3月16日に出発し、3月17～19日、岩手県釜石市にて避難所での診療支援を行いました。担当した唐丹地区も多大な津波の被害を受けており、不眠、便秘など、避難生活のストレスによる症状を訴える方や、常備薬を失くされた方が多かったです。今回できたことはわずかでしたが、被災地の為に活動できたことはとても良い経験になりました。



当院医療救護班の2隊目以降については、長野県医療救護班の一員として宮城県石巻市へ派遣し、石巻赤十字病院を拠点として現地の医療支援を行いました。現地においては2隊目、3隊目ともに石巻市内の避難所において診療支援を行っています。



※なお、長野県医療救護班は5月31日までの間、石巻市の医療支援を実施しました。

また、院長をはじめ多くの病院関係者の方のおかげで、無事に活動を終え戻ることができましたことに感謝申し上げます。

東日本大震災 医療救護班活動経過

医療救護班第1隊

【3月15日】 18:00、長野県が岩手県からの医療救護班派遣要請を受け、当院に派遣要請が出る。それを受け、医療救護班の派遣を決定。院長より出動命令が出る。

【3月16日】 岩手県へ医療救護班を派遣。(医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名)

【3月17日】 到着後、釜石市唐丹地区の診療活動を行うよう指示あり。同地区にて診療活動を行う(3避難所)。

【3月18日】 前日に引き続き診療活動を行い(3避難所及び個人宅巡回)、同地での活動を終える。2日間の活動で6避難所・127名の診療を実施した。

【3月19日】 大町病院帰着。

医療救護班第2隊

【3月26日】 県の要請により、宮城県へ医療救護班を派遣。(医師1名、看護師2名、薬剤師1名、臨床検査技師1名)

宮城県石巻市着。先発医療救護班より引継を受ける。

【3月27日】 石巻市渡波(わたのは)地区の診療活動を行う(3避難所及び個人宅巡回)

【3月28日】 石巻市大街道地区の診療活動を行った後(3避難所)、後発医療救護班に引継ぎ、活動を終える。2日間の活動で6避難所・112名の診療を実施した。

【3月29日】 大町病院帰着。

医療救護班第3隊

【4月9日】 県の要請により、宮城県へ医療救護班を派遣。(医師1名、看護師2名、薬剤師1名、臨床工学技士1名) 宮城県石巻市着。先発医療救護班より引継を受ける

【4月10日】 石巻市大街道地区の診療活動を行う(2避難所)

【4月11日】 石巻市大街道地区の診療活動を行った後(3避難所)、後発医療救護班に引継ぎ、活動を終える。2日間の活動で5避難所・64名の診療を実施した。

【4月12日】 大町病院帰着。

こんにちは！
大町病院
★
健診センター
です



がん検診はお済みですか？

がん検診を申し込みされた市民の方々に對し、4月に受診券の葉書をお送りしています。受診券をお持ちの方は、空いている秋のうちに御予約下さい。3月下旬頃になると混み合い、ご希望の日程でご案内ができなくなることがありますのでお早めにごついで。

がん検診の種類…

- *胃がん検診
- *肺がんCT検診
- *前立腺がん検診
- *子宮がん検診
- *乳房視触診検診
- *乳房マンモグラフィー検診



大町病院健診センターでは、

がん検診の予約を受け付けています。

☆**予約のお電話**☆

大町病院健診センター
・22-0415 内線2359へ

■**当院で実施した22年度がん検診結果**

検 診 名	受診人数	精密検査数	がんの発見
大 腸 が ん 検 診	1 4 3 0名	8 9名	4名
胃 が ん 検 診	1 3 6名	3 7名	3名
肺がんCT検診	1 3 4名	3 8名	1名
前立腺がん検診	2 2 8名	2 6名	5名
子 宮 が ん 検 診	4 0 4名	3名	1名
乳房視触診検診	2 2 4名	1 2名	0名
乳房マンモグラフィー検診	4 2 9名	7 5名	1名

特定健診のご案内

～**大町市国保の方へ**～

大町病院では、個別の特定健診を行なっています。2時間ほどで、健診（血液結果・診察・保健指導まで）が終了します。多忙で時間のない方、その日に血液結果を聞きたい方、早速予約して下さい。

また、がん検診と特定健診がセットになったお得な「プレミア検診」は、11月まで予約が入っておりますが、お申し込みの方は、お早めにご連絡ください。

ご連絡は上記へ。

集団健診申し込みの方へ

集団健診が終盤を迎えています。
今後の集団健診日程

- 9月20日(火) 中央保健センター
- 9月26日(月) 中央保健センター
- 9月30日(金) 中央保健センター

まだお受けになっていない方に、予備日としてご案内しております。是非都合をつけて受診して下さい。

☆**集団検診についての申し込み、問い合わせ**☆
大町市役所 市民課国保年金係
・22-0420(代表)へ

地域にお伺いします！

健診センター 出前講座

健診センターでは、昨年度より地域にお伺いして、出前講座を実施しております。健診についてのご案内や、健康相談など行っております。

御希望の方は、お気軽にご連絡ください。



診療所情報

今回は八坂診療所の医療機器について紹介いたします。

診療所では、循環器の病気の診断や治療法を決定するのに必要な機器が充実しています。

循環器の病気には、心臓の病気(不整脈、虚血性心疾患、弁膜症など)、血管の病気(閉塞性動脈硬化症、大動脈瘤など)、高血圧症などがあります。これらの病気の検査を中心に、診療所の機器の中から特徴的なものを紹介します。

超音波検査

『心臓超音波検査』心臓の動いている様子をそのまま画像に写し出して、心臓の形態や状態・機能などを調べます。



『頸動脈超音波検査』頸動脈の動脈硬化の有無や血管の詰まり具合、プラークの観察をします。全身の動脈硬化の指標になります。

血圧脈波検査



手と足の血圧の比較や脈波(心臓の拍動)の伝わり方を調べることで、動脈硬化の度合いや早期血管障害を検出することができます。

レントゲン撮影



写真はデジタル化され鮮明です。過去の写真との比較も容易で、呼吸器の病気の早期診断にも役立ちます。

その他、心臓に関する症状の出現時にその場で心電図波形を測定し、医師に見せることで、診察に活かすことができる『携帯心電計』や、24時間通常の生活時の心電図を持続的に記録し、後日解析して診断する『ホルター心電図』(主に不整脈や狭心症の診断に用います)などがあります。

八坂診療所・(0261)26・2814

ユニフォームが新しくなりました

4月より新しいユニフォームになった男性看護師、看護助手に続き、女性看護師の白衣が新しくなりました。

これまで5年間着用したピンク・白の花型襟ユニフォームからネイビーのラインが入ったタイプへとユニフォームが一新されました。

看護部白衣委員会では、看護師チームとして「士気」「規律の高さ」「統一感」を重視し、プロとして清潔感のあるホワイトラインワンピースを含む6パターンのデザインを選びました。「シャープできりとした印象」「活動的で明るい印象」「優しく知的な印象」など好評をいただいております。

ユニフォームも一新され、より一層安全で質の高い看護を目指し、まい進していきたいと思います。



お知らせ

平成23年度 再就職支援研修会を開催します

大町病院では長野県看護協会協賛による再就職支援研修会を開催します。

この研修会は、しばらく看護の現場から離れていらっしゃる方々に、もう一度看護の現場に戻っていただくための準備をするものです。看護師コース・助産師コースともに、最近の看護事情・看護倫理などの講義と実際に看護実技演習を行います。特にモデルロボットを使用したフィジカルアセスメント等の実習は、より専門的な内容で充実したものになっております。

小さなお子様がいらっしゃる方も無料で託児所を準備しておりますのでご安心ください。
定年退職後の方も大歓迎!!

詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。

■日 程 10月3日(月)～7日(金)【5日間】

■時 間 午前9時～正午

■締め切り 9月22日(木)

■問い合わせ・申し込み先

市立大町総合病院 看護部看護部長室
・0261-22-0415(代) 内線2211



プログラム

看護師コース

10月3日(月)	最近の医療・看護の動向、採血・静脈注射、点滴静脈注射
10月4日(火)	輸血ポンプ・シリンジポンプ、酸素療法、吸引
10月5日(水)	病棟見学実習(シャドー研修) ※希望者のみ
10月6日(木)	感染管理、看護倫理、BLS・AED
10月7日(金)	個人情報保護、医療安全、フィジカルアセスメント 等

助産師コース

10月3日(月)	最近の医療・看護・助産師の動向、病棟見学
10月4日(火)	胎児心拍モニターの付け方・読み方、新生児蘇生アルゴリズム
10月5日(水)	超音波実技、産後外来見学、希望実習・懇談会
10月6日(木)	感染管理、看護倫理、BLS・AED
10月7日(金)	個人情報保護、医療安全、フィジカルアセスメント 等

駐車場の区画を変更しました

正面ロータリー周りの駐車場を「身体障害者等専用駐車場(名称:思いやり駐車場)」に変更しました。

これまでの7台分に加え、ロータリー周りに6台分のスペースを増設しました。お体が不自由な方や高齢の方などで歩行が困難な方など、乗り降りの際に自動車のドアを大きく開ける必要がある方はご利用ください。

その他の来院者につきましては、思いやり駐車場の適正利用にご理解とご協力をお願いします。



募 集 情 報

平成24年度採用 病院職員募集

◆職種◆

保健師・助産師・看護師・准看護師	20名
薬剤師	1名
言語聴覚士	1名
作業療法士	1名
臨床工学技士	2名

※申込用紙・募集要項等は庶務課庶務係にお問い合わせください。

※申込等の詳細については募集要項をご覧ください。

◆試験日◆

平成23年9月24日（土）

※平成23年度中の採用試験は随時行っていますのでご相談ください。

シニアナース募集

看護師の資格を持ちながら何らかの理由で離職されている【潜在看護師】の方がたくさんいらっしゃいます。大町病院では、このような看護師の方たちにもう一度一緒にいただける場を設けました。

『ブランクがある…』『最近の臨床現場が分からない』など様々な不安をお持ちかと思いますが、『もう一度働きたい』という、その気持ちがあれば大丈夫です。

若い力を応援していただき、患者さまに寄り添っていただけるシニアナースの皆様をお待ちしています。

◆資格◆

保健師・助産師・看護師・准看護師の資格をお持ちの方

◆年齢◆

制限なし

◆給与◆

1,000円／1時間

◆勤務時間◆

1日4時間程度

（ライフスタイルに合わせて時間・日数等ご相談に応じます）

◆業務内容◆

緊急時の処置はございません。

「療養上の世話」の中で軽労働をお願いします。

例）患者さまのお話し相手、車椅子介助・補助、食事の配膳・
下膳、歯磨き 等

《問い合わせ》 市立大町総合病院庶務課庶務係

[TEL] 0261-22-0415（内線2217）

[FAX] 0261-22-7948

[ホームページ] <http://www.omachi-hospital.jp/>

職場紹介

医療情報部 情報システム管理室

大久保 数馬

情報システム管理室では、病院内における情報システムの企画・開発・運用・管理や利用者支援、情報資産の安全管理などを行っています。

皆さんには病院に来て、まず最初に受付をしていただいています。受付をすると、医事課で患者さんのカルテを用意し、受付された診療科に届けます。

受付をした診療科のパソコンには、来院された患者さんが一覧で表示されるため、検査結果待ちの患者さん、予約の患者さん、初診の患者さん等の状況を確認しながら診察室へご案内することができます。

診察室では、先生がパソコンで検査指示や、投薬の指示など入力します。その情報は、検査室・薬剤科などの他部門システムに送られます。今までは、紙による情報伝達が主でしたが、情報システムを利用することにより、より正確に迅速に情報のやり取りをすることが可能となりました。

また、検査結果の情報もデジタルデータで保存することにより、過去データの参照や比較が容易にできるようになりました。

診療技術部 薬剤科

科長 下出 玲子

現在、当院では約1000種類の薬剤を使用して患者さんの治療を行っています。薬剤師 8 人、事務等臨時職員 2 名で、大町病院の規模に対して少ない人数ですが、これらの薬が安全に正しく使われるよう日々努めています。

薬には量や使い方にそれぞれの決まりがあり、これを守ることで、安全かつ適正に使用することができます。

過去には病院にかかる患者さんのお薬はすべて院内で調剤してありましたが、厚生労働省の方針で、分業といってお聞きつけ薬局をつくり、地域の薬局が患者さんのお薬の安全性や適正使用を管理することになりました。今までどんな薬を飲んで、どんな副作用が出たということも、大切な情報として管理していただきます。そのかわり私達病院薬剤師は、入院されている患者さんの内服薬から注射薬まで、個々の患者さんにあわせて、説明を行ったり、副作用は出していないか確認をしたり、注射セットをしたり、安心して医療を受けられるよう、業務を行っています。中心静脈栄養の注射、化学療法の注射剤は、投与ミスがないよう、感染の危険がないよう薬剤科で無菌調製を行っています。

ジェネリック薬品とか、後発品とか良く耳にする



外来診療における情報システム活用の一部をご紹介いたしましたが、このほかにも多くのシステムがあります。情報システム管理室では、これらのシステムが正常に連携・稼働できるよう管理しております。

医療の現場でも IT を利用したサービスがようやく充実してきました。現在、長野県と信州大学病院が中心となって、院内のシステムだけではなく、他病院との情報システム連携をおこなう「信州メディカルネット」が計画されています。今年度から稼働予定とのことですが、当院も参加に向けて準備をしています。

情報システムは直接患者さんを治療できるものではありませんが、最終的に患者さんへのサービス向上や安心につながることを目的とし、努力してまいります。



言葉ですが、院内でも、より安全で経済的にも患者さんの負担が少なくなるよう、ジェネリック薬品の選択・変更を行っています。現在は全体の約16%の品目がジェネリック薬品に変わっています。

入院すると患者さんには、家で内服していたお薬をすべて病院に持参していただくことになっています。薬剤科では、これらのお薬をすべて鑑定し、結果を医師に報告いたします。ここには先程のジェネリック薬品も含まれ、正しく名前を把握することで、重複したり、相互作用が起こったりしないよう管理しています。間違えて内服しないよう、医師が不要と判断した薬は、手元に無いほうが安全なのでお預かりしたり、時には処分させていただくこともあります。患者さんもお薬についてお困りのことがございましたら、迷わず薬剤師にご相談ください。

登録医の紹介

登録医とは、患者に対して一貫性のある医療を提供できるように協力体制をとっていただける地域の先生方です。

横 沢 医 院

今号のシリーズ「登録医紹介」では、登録医No.12 横沢 伸 先生（横沢医院）を訪問取材してまいりました。

診察のお忙しい時間の中、優しい笑顔と心根の強いお人柄の両方を感じる取材でした。快く取材を受けていただき、心よりお礼申し上げます。（聞き手・地域医療福祉連携室 高橋）



— 先生のご趣味は？ —

趣味はスキーとゴルフです。スキーは子供の頃からいわゆる競技スキーをしていて今も大会に出ています。だから身体を鍛えるために毎日走っているんですよ。シーズン中は毎週日曜日の朝にヘルメットをもって八方尾根へ向かいいます。アーリーモーニングとあって、朝一番のリーゼンスラロームコースをスキー場会員限定で貸しきって5本位滑るんです。八方尾根のことは何でも聞いて下さい（笑）。

何でも診る診療

— 白馬村で診療して思うことは？ —

白馬村は観光立村の地域です。ウインタースポーツや夏山登山が元です。それで活気のあるところでしたが、時代が変わって一時期の活気はなくなっただけに感じていました。骨折などのスポーツ外傷が多かったり、県外の患者さんが



— 診療で大切にされていることは？ —

そうですね、健康が一番の財産であると思っています。



— 病院との病診連携の状況は？ —

夜間急病センターができたことや病院自体も一昔前と違って救急対応を受けて下さっているのでも助かっています。

— 病院の対応はどう感じますか？ —

外科も内科も先生達がきちんと返書を書いて返してくれるので、大町病院へ紹介した

患者さんが白馬に戻られてからの診療も助かっています。ありがたいです。

地域で完結できる医療体制

— 期待する大町病院の機能は？ —

大町病院だけではないですが、ここは中信地区の北側の地域なので、何かあれば南側の地域に行かなければならない。その時に松本医療圏まで行かなければいけない病気があるわけです。だから、ある程度近くのところで循環器科や脳神経外科を診療できる体制の整備を望みます。その辺のところを地域の病院間で病診連携をお願いしたいと思っています。また、そういった意味では、この地域に脳神経外科の医師が1人でもいる診療体制の整備を長野県には期待しています。資源投入が南側の地域に集中し過ぎていると思っています。



▶奥様の横沢日出子先生と

所在地	北安曇郡白馬村大字北城森上9715-2
電話	0261-72-2008
診療科目	内科、外科、小児科
診療時間	・ 8:30～11:30（月～土） ・ 14:30～17:00（月～金）
休診日	日曜日、祝日、土曜日午後



〔横沢伸先生プロフィール〕
白馬村生まれ。昭和56年聖マリアンナ医科大学卒業。同年、信州大学医学部第1外科入局。昭和59年市立大町総合病院外科、昭和60年に出身地の白馬村で横沢医院を開業。開業当時から奥様の横沢日出子先生と二人三脚で診療にあたり現在に至る。

外来診療表

※休診日 日曜・祝日・土曜(第1・3・5)

平成23年9月1日現在

総合診療 受付時間 8：00～16：30（月・木曜日の内科は 16：00 まで）								
診察室（診療時間）			月	火	水	木	金	土
内科（終日）			（中澤 勇一）			（中澤 勇一）		
外科（14:00～）				秋田 倫幸	飯沼 伸佳		高木 哲	

一般外来 受付時間 8：00～11：30（土曜日は 10：30 まで） ※（ ）は信大からの派遣医師です。								
			月	火	水	木	金	土
内 科 ※午後は 予約のみ	1 診	午前	山田 博美 （循環器）	後藤 紀史 （循環器）	新津 義文 （腎臓・血液・感染症）	（信 大）（呼吸器）	北原 修 （腎臓・糖尿病）	（漆畑一寿）（呼吸器）
		午後						
	2 診	午前	木畑 稔（消化器）	林田 美江 （呼吸器）	百瀬 邦夫 （一般内科）	総合診療	（柴 祐司）（循環器）	
		午後	百瀬邦夫（一般内科）				木畑 稔（消化器）	
	3 診	午前	新津 義文 （腎臓・血液・感染症）	北原 修 （腎臓・糖尿病）	山田 博美 （循環器）	（小口泰尚）（循環器）	鈴木 敏郎 （呼吸器）	
		午後						
	4 診	午前	総合診療	吉田恵司（消化器）	鈴木 敏郎 （呼吸器）	吉田恵司（消化器）	林田 美江 （呼吸器）	
		午後						
	5 診	午前	（植木康志）（循環器）					
		午後						
禁煙外来 [受付]14:00 まで					鈴木 敏郎 [診察]13:00～15:00			
漢方外来 [受付]15:30 まで						藤巻 達男 [診察]14:00～		
小児科	午 前		竹内 勇介	遠藤 優子	竹内 勇介	遠藤 優子	（小林 法元）	大嶽 富夫
	午 後 【 予 約 制 】			乳児健診、発育 外来、循環器外来		予防接種		
外 科	一 般 外 来		高木 哲	秋田 倫幸	高木 哲	秋田 倫幸	飯沼 伸佳	（信 大）
			秋田 倫幸	飯沼 伸佳	飯沼 伸佳		高木 哲	
	乳 腺 外 来 [受付]10:00 まで						小池 綾男	
	心臓・血管外来 [受付]16:00 まで						（信 大） [診察]14:00～	
整 形 外 科			下川 寛一	鎌倉 貞夫	伊藤 仁	鎌倉 貞夫	伊藤 仁（2・4・5 週）	鎌倉 貞夫
			伊藤 仁				藤澤多佳子（1・3 週）	（信 大）
脳 神 経 外 科						（伊東 清志）		
皮 膚 科			松本 祥代	松本 祥代	松本 祥代	（中藤 奈美）	松本 祥代	松本 祥代
					子供/専門外来 [診察]14:30～ （受付は 15:00 まで）			
泌 尿 器 科			井上 善博	柳沢 温	中藤 亮	井上 善博	中藤 亮	井上（第2 週） 中藤（第4 週）
産 婦 人 科			深松 義人	安藤 大史	（大平 哲史）	深松 義人	安藤 大史	（信 大）
眼科【完全予約制】			（山本裕香/平野隆雄）		（千葉 大）		（黒川 徹）	（山本裕香/平野隆雄）
耳 鼻 咽 喉 科 [水曜受付]15:30 まで					（信 大） [診察]14:00～			（信 大）
形 成 外 科 [受付]16:00 まで				（ 伴 碧 ） [診察]14:00～				

※眼科外来は紹介状をお持ちの方のみ事前予約が可能となっています。詳しくは眼科外来までお電話ください。

※ドック・特定健診等は健診センターまでお問い合わせください。

※診察券(プラスチックカード)は全科共通です。保険証と共に忘れずにお持ちください。

※再来受付機は、保険証を3ヶ月以上提示いただかないと利用できなくなります。(1 番総合窓口にお越しください)

市立大町総合病院 TEL 0261-22-0415